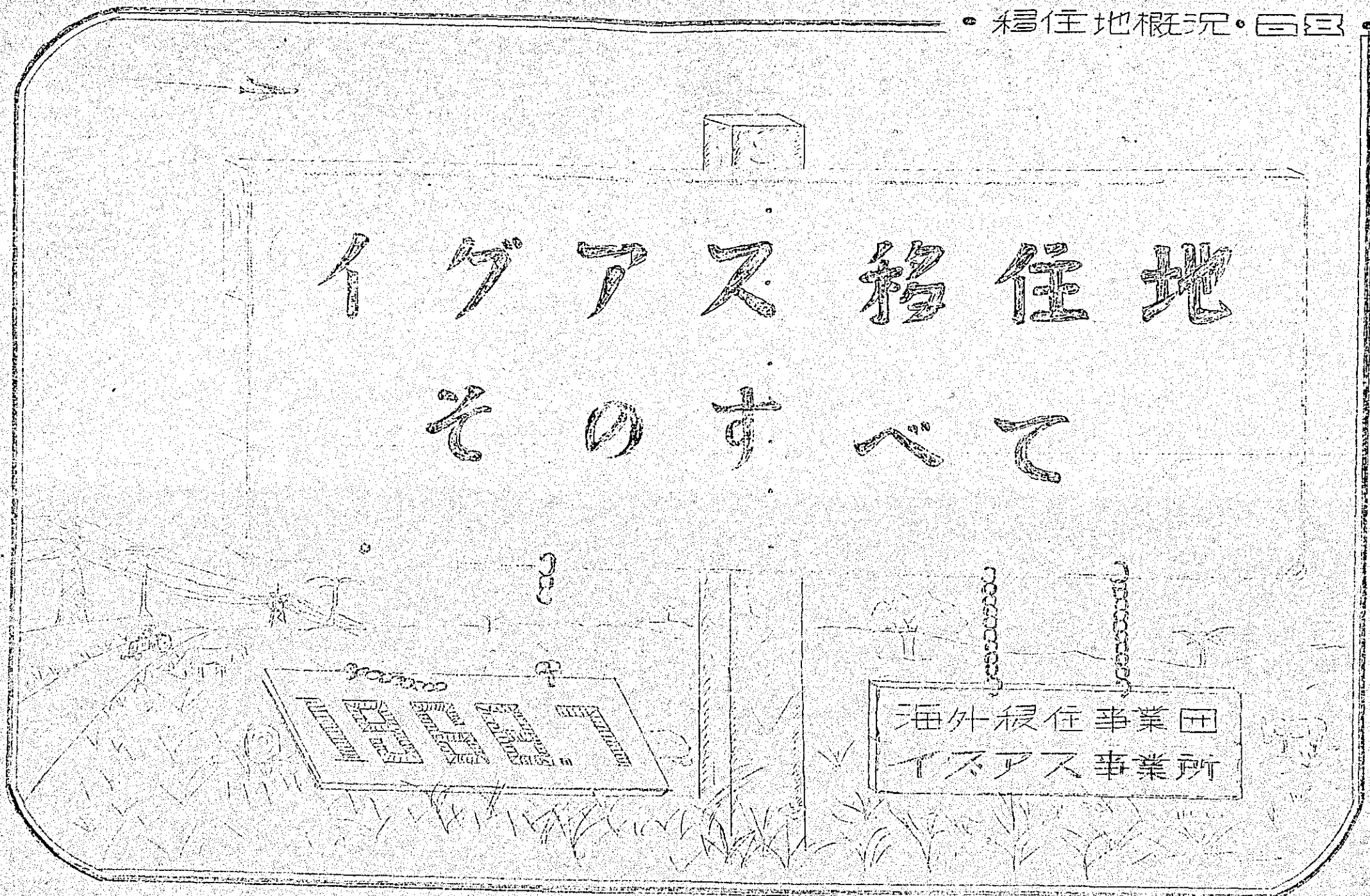


Tokio

地 住 移 住 地 の す べ て



海外移住事業団
イヌアス事業所

703
234
EM
LIBRARY

國際協和藥業團		
輸入 月日	84.8.26	703
		234
登録 月日	13068	EM

ようこそ“イグアズ移住地”をお訪ねいただきました。
 この承知とは思いますが、この移住地は“海外移住競争団の直営移住地で自営開拓農業者を受入れてあります。
 この移住地の概況と入植される方々の状況、そしてどうな関係あることをよくご理解願うために、出来るだけ解
 り易く取りまとめました。お解りに合う内容、また、もっと詳しくお知りになりたいときは、ご遠慮なく
 おたずねください。

1. 移住地の自然環境は

- (1) 移住地の位置 **南緯25°30' 西経55° 首都アスンシオン市より東方263km ~ 293km向、
 伯国との国境にある国際橋より34km ~ 64km向**
 パラグアイ共和国 エルトパラナ県 エルナンディア郡及びイララ郡
- (2) 事業所の位置 アスンシオン市より286kmの地奥、伯国との国境より41kmの地奥。
 (名称) CORPORACION PUBLICA DE SERVICIO EMIGRATORIO DEL JAPON
 “ADMINISTRACION DE LA COLONIA YGUAZU”
- (3) 移住地の面積 87,765ヘクタール(877.65km² 日本国土の約1%相当、香川県面積の47%、パラグアイ国
 土の約1%相当)
- (4) 標高と地形 標高=最低182m、最高299m、平均標高は、約250m。
 地形=テラロシア特有の大波状のゆるやかな起伏に富む地形です。
 そして、国際道路がほぼ分水嶺となり、北部のイグアズ河、南部のモンダウ河に向い低く向つ
 ています。この2つの川の他は、移住地内には大きな川はなく、場所によりますが大体2~3km
 の向隔で小川があり、イグアズ河がモンダウ河に流入して行きます。
- (5) 地質・土壌 一般に中世代の玄武岩が風化した暗赤色ラテライト化土壌です。勿論、シルト質壤土又は砂壤
 土の所もあります。生産性に富んだ土壌が広がっています。
 日中は、ラテライト化土壌が主で、前後は、
 日よ、現況地目は次の通りです

原始林	62,545	69	ha
灌木林	5,536	6	“
草原	17,788	20	“
湿地	1,575	2	“
河川敷	1,660	2	“
計	87,762	99	ha

(6)植生・林相 高位部は、亜熱帯性の樹木におよぶ。低部は、叢林又は耐湿性草木が繁茂している。一般に植生は良好で木材としては、セドロ、グアイカ、グアダンブ、ラバー、チヨ、ウイラロ、パテレブ、インシエンソ、の順にあり、それぞれ用材に利用できます。

(7)水利 井戸水を生活にもまた、営農にも用いている状態ですが、井戸の深さは12m前後が多いようです。川水を利用している人は殆んどいません。特に43年の夏、早バツでかなり地下水位が下った模様です。水質は極めて良質です。

(8)気温・雨量 最高平均気温は 27.8℃
最低 " 15.9℃
平均気温は 22±
雨量は年間 1,900mm程度

(9)気候の大きな状況 南米大陸の真中のため大陸性亜熱帯圏に属しますが、気象は不安定です。夏は高温で冬も零度以下になることも年数回を数えます。大きな特徴は、日較差が大きく(平均10℃)一日のうちに四季があると云え、夏は日中暑くても夕方からグット気温が下りしのが易く反ります。一方冬は、日中はかなり暑くても、同様に急激な温度の低下で霜をみることもあります。このため厳密には、亜熱帯農業と決められません。当地の四季は、内陸性気象のため一定していませんが、大体のところ、春(9月下旬~12月中旬) 夏(12月下旬~3月中旬) 秋(3月下旬~6月中旬) 冬(6月下旬~9月中旬)と分けています。また、準乾季(7~8月) 準雨期(4~6月) 雨期(9~10月) 乾期(11~1月)と云われますが、これは一定したものではありません。

(10)自然環境の概約 後でも触れますが、この移住地は当筆茶田の直営移住地の中で最も大きな面積です。そして、豊かな土地が広がっています。勿論、その内訳は内訳と云って良のほど土地生産性があります。その隣の国ブラジルは、面へ面へと開拓が進みパラナ河に到達、最近ではドンソン、この先はパラグアイの沃土に進出しようとしている。FAO(世界食糧機構)は警告しています。その先、人口増加は一方、農業生産が停滞すると恐るべき飢饉が到来する。この点からいえば当地は恵まれているといえます。

2. 移住地の一般社会環境

(1)交通事情 首都アスンシオンまで 280km でバス便 約5時間 ~ 6時間 ほぼ1時間毎に便があります。 県都ストロエスネルまで41 " " 約30分 ~ 40分 " " " " " "

(2)市場争情

首都	アスンシオン	約 30 万人
県都	ストロエスネル	2 万 (隣市フランコを含む)
	コロネルオビエド	3 万 (アスンシオンに向い 155 km 地奥の市)
	カーレンズ	2 千人 (隣市マジョルキン植民地の市街地)
	ヒリメリカ	3 万人

しかし、現在、殆んどの農産物は、国際道路を利用してアスンシオンに出荷しています。
 なお、精粉工場(カーレンズ) 缶詰工場(ストロエスネル) などがあります。

(3)居住地争情

(近隣居住地など) 。当居住地の面積りは、ストロエスネル植民地(内務省関係)約40000 ha でほぼ満植という。この他に35000 ha の保留地があります。
 ストロエスネル港灣都市(内務省関係)はほぼ満植という。
 。当居住地の面積りは、マジョルキン植民地(農牧省関係)約40000 haでほぼ満植という。
 オカンボ植民地(個人)
 メノニタ (メノニタ関係)
 。当居住地の面積りは、農牧省の植民地とアメリカ系資本による植民地の建設が進められよう
 としています。
 居住地が目白押しに並びにインド人入植が進み、急ピッチで開発されています。

(4)電気通信争情

電気= 自家発電をしている人もありますが、殆んどの人はガスランプ類です。
 しかし、当地から僅か40km地奥で、国の電力公社(ANDE)が米州開発銀行、その他から借款して建設中のアカラウ発電所(完成電力24万キロワット)がすでに試験送電を
 していますが、1968年8月には、このうち4万5千キロワットの本格送電を開始し
 ます。そして、1970年には、アルトパラナ県主要部への送電のための発電所が建設さ
 れるといわれており、日南の電化が確実視されています。(この場合電圧は、220V)

電話= 居住地内にはありません。
 電話局は、ストロエスネル(距離40km) カーレンズ(距離 30km) にあり電報も取
 扱っています。因みに電話局は ANTELCO (電々公社の意味) といわれます。

郵便= 郵便局はありません。しかし、イグアス自治会が開設申請の用意をしています。
 現在のところ、当地あての郵便は次の松書函に出してください。

Mr. OOOOO
 Colonia Iguaçu.
 Casilla de Correo No 1121
 Asunción - Paraguay

Mr. OOOOO
 Colonia Iguaçu
 Caixa Postal No 153
 Foz do Iguaçu, Paraná Brasil.

(5)治安事情

移住地内 = 市街地 (km41地奥) 警察署があり、県警派遣の警官及び兵士が常駐しています。

移住地外 = カーレンズ (km67地奥、約30kmの距離) に警察署。

シエロクエ (km79 " "40 " ")

ストロエスネル (km16 " "25 " ")

モンタ (km1 " "41 " ") に県警本部。

キント (km8 " "34 " ") に国境警備隊。

幸い当移住地は、未だ凶悪事件の発生は極めて極めて治安は良好ですが、入植者の増加と相まって雇用入夫が激増しており、小盗難が増加の傾向があります。そこで、パトロールの強化を行っております。なお、丁地区に警察分署をおくよう計画中です。

(6)司法事情(裁判所など)

移住地内 = ありません。

移住地外 = ストロエスネル (km11地奥、約41kmの距離) に判事々務所。

シエロクエ (km16 " "25 " ") に判事神事務所。

カーレンズ (km67 " "30 " ")

シエロクエ (km79 " "40 " ")

ヒリヤリカ (約200kmの距離) に裁判所。

現在、裁判行為に因つた例は多く、出生、死亡、婚姻などの届出で利用する機会が多い。

将来、移住地内に判事々務所を設置するよう検討中です。

(7)社会保険・労務事情(社会保険局・労務基準局など)

移住地内 = ありません。

移住地外 = フランコ (約45kmの距離) に社会保険局アルトバラナ県支局及び労務基準局アルトバラナ県支局があります。

最近、特に雇用入夫との労務契約などのトラブルが次第に多くなってきています。

(8)金融事情(銀行など)

移住地内 = ありません。

移住地外 = ストロエスネル (km0地奥、約41kmの距離) にパラグアイ勸行銀行アルトバラナ県支局があり、主として農業融資を取扱っています。

(9)行政事情

運転免許取得、各種鑑札取得などは、ストロエスネル市役所 (km1地奥、約40kmの距離) で

取扱われています。アルトバラナ県庁は市役所の近くにあります。

なお、道路委員会(土木省に登録)は、当移住地にありますが、県の道路委員会(フランコ

所在)の管轄下にあります。

3. 移住地の生活環境は

(1) 自治体組織

入植者のうちが全員加入し自らは自ら作り自治会があります。この自治会がゆく々は、パラグアイの行政組織に直結する訳です。そして、各種行政事務を取扱う予定で、この自治会の内部組織として、次のものがあります。

道路委員会 = 土木省に公認登録道路の維持管理が主な仕事です。負担金は、法令で、年間男子(20~29才) 360 ガラニー、(30~39才) 300 ガラニー、(40~49才) 240 ガラニーと定められてあります。

警察協力委員会 = 内務省に届出済、地区警察活動の民間支援団体です。

教育協力委員会 = 文部省に届出済、学校教育(スペイン語及び日本語教育)を全面的に後援するものです。

富農促進委員会 = 富農促進のための各種活動を行います。

部落委員会 = 入植地域をいくつか区分し、部落組織としての部落会があります。

以上の組織は、それぞれを活動するために入植者のうちが負担金を徴収してあります。

(2) 農協組織

現在、入植者のうちが加入している農業協同組合はつぎの通りです。

イグアス農業協同組合(法定) 組合員 24 名(昭和43年6月現在)
本部は、イグアス(支所(販売所)イグアス・シオン) 総合農協で、購買、販売、利用事業を行っております。

パラナ農業協同組合(法定) 組合員 8 名(昭和43年7月現在)
本部は、イグアス(農業主体の農協です)

拓進のちいさな農業協同組合(法定) 組合員 26 名(昭和43年7月現在)
本部は、イグアス(支所(販売所)イグアス・シオン) 農業主体の農協です。

以上を活動してはいますが、ゆくゆくは大規模化の必要で、すでに話し合いが進められております。

(3)農業グループは

- 果樹研究グループ=果樹作の経営技術的研さんを目的としています。 会員 20 名前後
 - 養豚研究グループ=養豚に関する経営 技術的研さんを目的としています。 〃 15 〃
- この他に1~2のグループの発足が予定されています。

(4)一般グループは

- 体育クラブ=スポーツを通じての青年の親睦と移住地の体育振興を目的としています。 会員 40 名前後
 - 背伸会=青年の教養向上を目的としています。 〃 10 〃
 - 婦人会=移住地全体の婦人会はありませんが、各部落にそれぞれ小婦人会が結成されています。
- この他に1~2のグループの発足が予定されています。

(5)教育事情(スペイン語教育と日本語教育)

◦スペイン語教育=この国は、小学校6年が義務教育となっています。小学校は、移住地内に3校あります。すべての教師は巴拉グアイ人女性です。資格は、師範卒(1級)ばかりです。

- 小学校=
 - マリスコフランスコ、ラノボス校(所在市街地 Km284 地点) 公認校で6年生まで。 卒業団形成
 - インテルナショナル校(所在 農場敷地 Km282 地点) 〃 〃 〃 〃
 - エリサント・ド・カリリャ校(所在市街地公共用地 Km268 地点) 未公認校(3年生まで)

◦中学校=移住地内にはありませんが、現在、移住地からラノボスの距離(Km284 地点)にあるコレヒオ・ウレシアノ校(カトリック系)に通学している移住者が年々おられます。この子弟に卒業団は、奨学金を支付する予定です。また、スルビエスネル(Km1 地点、市街地と距離)にも中学校があります。

◦日本語教育=日本の文化、教養の習得の他に巴拉グアイ小学校の補修教育としての目的をもつています。この学校として、移住地内に2校あります。年間、日曜日午前中複式授業をしています。①本校(所在市街地 Km284 地点) 小学と中学課程。②分校(〃 農場敷地 Km277 地点) 小学(低学年)課程。

当後住地は当初、油桐を基幹としていましたが、必ずしも明るくはない油桐市場の将来性、そして栽培上の問題等からこれに代る家畜、柑橘、植林などが検討されました。しかし、肉牛を除き、まだ販路に問題がある訳です。そこで、肉牛を主作目としました。ところが肉牛経営は、多額の資金と土地を必要とし、また資金の回収に多年を要するものでありますから携行資金が乏しい入植者には、これを基幹とすることに少し困難がありますが、現在のところ販路市場性の問題が少ないので、これを取り上げていきます。もちろん、いろいろのものが、問題がなくなりますと基幹作物の数を増やし、経営の多角化を図るべきものとしていきます。

(2) 現実の営農事情

入植者1陣は、昭和36年5月、既に7カ年を経過しましたが、大半は、この数年に入植、従って、平均入植経過年数は、3年程度です。この度（昭和43年6月）の調査によりますと次のようになっています。

1戸平均伐開面積	約 10 ha
〃 耕地	〃 6.6
〃 牧野	〃 2.7
〃 その他	〃 0.7

作付面積の多い順序 = とうもろこし、大豆、マンデオカ、蔬菜（トマトを除く）、トマト、陸稲、水稲、雑草、樟、植林となっています。

平均土地利用率 = 94%

営農形態 = 画的でなく、蔬菜中心、約1割、蔬菜雑作、約2割、雑作中心、約2割の農家構成となっています。

所得階層別 = 上位農家約4%、中位約20%、下位約40%となっています。

収入の多い順序 = 蔬菜、77%、雑作、13%、畜産、10%。

販路収入の順序 = 蔬菜、59%、畜産、9%、雑作、2%。

経営費（現金支出）の順序 = 労務費41%、農薬15%、肥料11%、種子種苗6%、小農具5%、燃料3%、その他20%。

農具所有状況 = 動力噴霧機、エンジン、手押噴霧機、揚水機、オートバイ、脱穀機、沓機、碎機、チェーンソー、脱粒機、耕耘機、稲米機、初稲機、発電機、トラクター、の順序となっています。

畜産導入状況 = 牛40頭、馬25頭、豚800頭、鶏8,400羽（但し、75戸の調査結果）

参考のために営農収支を併せてお示しします。（単位：千円）

内 訳	農産物販売収入					営農経費 (現金支出)	所得	生計費	経済余剰	土地利用率		備 考
	雑作	蔬菜	果樹	畜産	計					伐開A	伐開B	
上位農家	5	524	01	38	567	311	353	107	252	13.5	8.2	販売収入300,000円以上
中位	8	150	-	14	172	89	93	51	42	10.1	7.1	100,000円～300,000円未満
下位	8	20	01	10	38	50	12	49	61	9.6	6.6	100,000円以下

1 戸当り平均

(単位:46)

内訳	農業租収入				農産物販売収入				営農経費(現金支出)							農業所得	生計費	経済余剰			
	雑作	蔬菜	果樹	畜産	計	雑作	蔬菜	果樹	畜産	計	人夫費	雑費	農業	肥料	外費				燃料	その他	計
平均	40	247	04	33	320	7	241	63	25	273	45	7	17	13	7	4	25	121	132	73	79

円換算する場合、カラニーを2.9倍すればよいわけです。

以上を要約しますと、蔬菜(特にトマト)栽培が中心だけにその上手下手、運、不運で粗収入に大きな開きがあります。しかし、蔬菜の危険性を痛感して営農形態の転換を始め出しました。

(3) 今後の課題は、

パラグアイ農業は、資産作りの農業をモットーとしてゆかぬばなりません。当稔任地は肉牛が基幹となつてゐるため、牧野造成、肉牛増殖という先行投資を必要とします。このため、その移行過程で自給体制を確立し、この土地での適地適作物であるとうもろこし、大豆等の雑作を商品作物として質量ともに改善、増産しなければ、おかしな難しさを味わう。簡単はようですが、入るを計って、出るを制するに徹し、そして、資産を増やすことに心掛けなければなりません。

そのためには具体的には、

- ① 代用面積の拡大を計ること。
- ② 雇用労賃の節減。
- ③ 機械の導入。
- ④ 雑作の生産性、収益性の向上。
- ⑤ 中小家畜(豚鶏)の優良品種導入と経営の合理化。
- ⑥ 米の域内自給。
- ⑦ 蔬菜の計画生産とその出荷統制。
- ⑧ 食生活の改善。
- ⑨ 農業技術の向上。
- ⑩ 牧野造成と素牛導入はとにづいて填剣に取り組まねばなりません。

(4) 主要作物の栽培要領は、

付表②の通りですが、適期適作業が多収への道であり、経費の節減を常に心掛けて行くこと。また、農家日記とか、空記をつけて営農生活の状況を把握し、将来の営農改善に役立てる必要がありそうです。

(5) 労力事情は、

家族数が多く稼働力に恵まれてゐる方でも、危険な山作業、牛戸担作業、長盛期の蔬菜栽培などの場合、どうしてもパラグアイ人農業労働者を雇ふことにはなりますが、現在は、より好みに任せれば、労働者不足に悩まされることはありません。しかし、この困り次第に物価が高くなつてきたこと、また、作業程度により、次第に労賃が高くなってきています。雇用の仕方①時間給、②日給、③請負、④歩合などがありますが、はっきり労働条件をきめておかないとトラブルや思わぬ出費をまき出すことがあります。

5. 移住地に入植するには、
この移住地は、自営開拓移住者を受入れてありますが、その形態は、①日本からの入植者、②現地(パラグアイ国)の邦人転住入植者、③現地分家独立子弟を受入れてあります。勿論、パラグアイ人入植者も受入れてあります。

- (1)分譲条件は
- 分譲面積 = 標準 3.0 ha
 - 一括払価格 = 400,000円 (G 140,012F)
 - 分割払価格 = 616,000円
 - 頭金 = 40,000円
 - 1回年賦金 = 115,200円
 - 分割払条件 = 9年据置の5年均等年賦払

勿論、日本から直接来られる方は、査査に合格されたわけですが、現地入植の場合は、稼働力、資金、営農意欲、負債の有無などを審査して決めてあります。
この他に市街地形成を行っており、商住ロッテ、小農園ロッテの分譲もしております。
なお、カンボ(自然豊)を分譲すること現在、検討中です。

(2)入植ロッテを決めるには、

この入植ロッテを決めて、1日も早く開拓に取り組まねばなりません。
そのために、事業所職員がいろいろ相談はり、案内はりまわりますが、参考までに良いロッテの見分け方について書いてみますと、

- 林相の良いところ --- 土地が肥沃、
- 石が少なくて --- 作業効率が高い、
- 高台が無く低湿地の少ないところ、
- 小川があること --- 牧場、水田経営に有利、
- 傾斜地は、北側に面した所が多い方がよい。

入植ロッテが決り、オ1年目の計画によって、その相当の面積の伐採、枝打ち、山焼き、畚焼とオ1年間の開拓作業を行ない、家屋、井戸などを作り入植者の準備をする訳です。

(3)現在の入植状況は、

昭和35年6月、主としてフラム入植者の子弟のオ1陣入植以来、現在(昭和43年7月現在)までの入植状況は、次の通りです。

内地から直接きた方、	55 家族	} 163 家族
邦人現地入植の方、	78	
パラグアイ人入植者	30	
計	163 家族	

入植地域は、付図の通り国際道沿線に群状に入植し、一方、A、B、H、I地区と入植が進んであります。J地区はパラグアイ人入植者が殆んどです。なお、入植地域選定は、事業所に相談してもらうことにはなっています。
さて、内地各都道府県、来訪者の方の参考のために、邦人入植者の出身県をみてみますと付表のとおりです。

います。その方が分かりますと、四国、東北、九州、北海道、関東、中国、近畿、東海、北陸の順と回っており、ベストテンは、高知、岩手、北海道、長崎、佐賀、東京、青森、秋田、熊本、大坂と回っています。県人会を作っているところもあります。

6. 海外移住事業団とは

当事業団の目的と業務内容は、よくご存知と思いますが、簡単に次のようにまとめられます。

(1) 目的とその主要仕事

目的は「移住者の移住後の指導その他、海外移住の振興に必要な業務を国の内外を通じ、一貫して効率的に行なうこと」であります。
その主要仕事をあげますと、①海外移住相談の普及、②移住相談、③移住のあっせん、④訓練、⑤送迎、⑥渡航費支給、⑦支店費等の交付、⑧定着援助、⑨移住金融、⑩移住地の取得援助、⑪調査研究、⑫移住関係団体との連絡提携、⑬その他目的達成に必要な業務、と回っています。

(2) その組織と予算は

昭和38年7月5日、法律第114号で文部省「財団法人日本海外協会連合会」が「日本海外移住振興株式会社」の一切の権利及び義務を承継して設立された法人です。
そして、その予算は、政府出資（出資額という）と同じく政府からの交付金をもつて組み立てられ、外務省の監督を受けております。
その組織は、日本国内に本部長が地方事務所を、海外に代表部、支部、支所、事業所、試験農場、駐在員事務所及び現地法人を設けている。

日本国内 = 本部 = 東京都新宿区本塩町三丁目（住友生命血谷ビル）TEL 東京 - 359 - 8281
本部の付属機関 = 移住センター（岐阜市と神戸市）、海外移住研修所（群馬県）
地方事務所 = 北は、北海道から、南は、鹿児島までの47都道府県と沖縄。群

海外 = 中南米代表部 = リオデジヤネイロ（ブラジル）
他国現地法人 = サンパウロ
支 部（ブラジル）カオリーニヤネイロ、サンパウロ、バレン、レシーフェ、ポルトアレグレ
（パラグアイ）アスンシオン
（アルゼンチン）ブエノスアイレス
（ボリビア）リマ、タクルス
（ドミニカ）サント・ドミンゴ
支 所（ブラジル）マナウス
（パラグアイ）エンカルナシオン
事 業 所（ブラジル）グアタバラ、バルセア、アレグレ、オコトメアス
（パラグアイ）アルトパラナ、イグアス。

	(アルゼンチン)	アンデス、ガラッパ。
	(ボリビア)	サンフアン、オキナワ。
試験農場	(ブラジル)	オ2トメアス。
	(パラグアイ)	アルトパラナ、イグアス。
	(ボリビア)	サンフアン。
駐在員	(アメリカ)	サンフランシスコ
	(カナダ)	トロント。

この他に技術研修センターが、サンパウロにあります。なお、アスンシオン支部では、ペードロフランカバリエロ市に出張所を設けてあります。

7. イグアス事業所と試験農場について。

(1) イグアス事業所(開設は、昭和35年11月)では

前にも触れましたが事業所の業務の殆どを行ってありますが、主なものをおあげてみますと、1 生活の相談(営農面も含めて)、2 居住地の造成と分譲、3 定着援護、4 税金金融、5 対外的防衛と連絡、6 各種調査などです。その仕事は、全く多岐に亘っております。具体的にその業務についてお述べしましょう。

居住地の造成と分譲=地区制(ブロック制という)などの測量、道路、橋梁、暗渠などの造成をして入植地域を作り、そして入植者達に分譲します。

定着援護=全くその範囲を定めたものではありません。生活相談と密接に関連し、入植までの世話、そしてその後もいろいろの相談、教育、治安、医療衛生、労働問題などの指導援助も行なわれます。

税金金融=その融資対象は様々ですが要約しますと、
 ①短期運転資金
 ②長期建設資金
 貸付限度：貸付金残高 150万円相当まで
 貸付条件：年利5%、5年(特別5年、牧畜関係資金)以内の割賦及び一時償還、4年以内の据置期間(期間中利払)

(2)短期運転資金
 貸付限度：貸付金残高 30万円相当まで
 貸付条件：年利5%、1年以内の割賦または一時償還

この他に団体(農協やその組合など)融資や災害融資の制度もありますが融資申請が激増して

あります。そこで当事業所では、(イ)のいわゆる長期融資を主として扱い、(ロ)のいわゆる短期融資は、パ国勧銀などの現地銀行から借り入れるようあつせんしてあります。また、貸付限度は、150万円までと基準できめてありますが、これは借入可能の限度であつて、この範囲のほかで、実績、信用、能力、営農計画等によつて可否、貸付額がきめられます。勿論、借り入れるの人もあるわけですが、なお、移住金融であっても、所要資金総額の20%は、自己資金としてあり、また、物的担保及び保証人(連帯)を必要としています。

(2) イグアス試験農場(開設は、昭和38年12月)では。

試験農場は、km45地臈(距離4km)に110haの本場があり、畜産センターはkm58地臈(距離17km)に1000haの規模をもちてあります。試験農場では、営農計画の基幹作目の畜産振興のための各種試験(草地改良、家畜品種適応、牧草品種改良等)とともに優良種の導入、人工授精、飼育技術の向上、病気の予防など畜産全般につけて、その相談を行つてあり、また、一般耕種の普及対策も進めています。

8. パラグアイのいろいろ。

- (1) 歴史 = 1535年にスペインの植民地となり、1811年に独立、1844年に共和国とつた。(総面積は406752^{km²})
- (2) 人種と人口 = 原住民であるガラニー族とスペイン系白人の混血と新しい民族(パラグアイ人)を形づくつています。(96.2%)。人口は、270万人、黒人はいません。人口増加率は、年約3%といふます。
- (3) 言語 = 民族の言語は、ガラニー語、公用語にはスペイン語、感情を表現するときは、ガラニー語が多いといふます。
- (4) 政体 = 主権分立の立憲共和政体。行政 = 大統領(現在アルフレド・ストロエスネル) 立法 = 上下両院 司法 = 最高裁判所
- (5) 行政 = 大統領を中心とする内閣。外務、大蔵、豆部、農牧、土木、国防、厚生、司法務、衛生、国務(無任相)の11部があり、また、自治を特別区とし、全国を17の県に分け、東部の3は、禁知事は、内相の任命制であり、また、東部の3の中にあるヤッコで野生動物の天国)もある県(例)、軍政下にかかると、軍司令官が行政を司つています。
- (6) 政治 = 与野党があり、現在、コロラード党(赤党)が政権を握り、反共、親米、OES(米世だ構)中心主義で国策を進めており、国連加盟国です。

附表(1)

物価調 (主要品をあげてみました。)

(単位 = ガラニー)

品名	単位	金額	入手の難易	備考	品名	単位	金額	入手の難易	備考	品名	単位	金額	入手の難易	備考
(食料品)					ビール	本	30	易		ランプ	個	120-		安手
白米	kg	21	易		醤油	ℓ	70	〃		(衣料品)				
うどん	〃	28	〃		ブドウ酒	ℓ	40	〃		麦ワラ帽子	個	20		並大人
小麦粉	〃	28	〃		魚肉	個	50	〃		タオル	枚	100		
パン	〃	10	〃		オレンジ	ダース	10	〃		地下ダビ	足	200		
固パン	〃	30	〃		バナナ	〃	10	〃		シャツ	枚	300		安手
牛肉	〃	60	〃		パイナップル	個	15	〃		Yシャツ	〃	350		〃
豚肉	〃	50	〃		サバ缶	〃	55	〃		ズボン	〃	500		〃
鶏肉	〃	70	〃		肉缶	〃	50	〃		毛布	〃	500		〃
鶏卵	ダース	60	〃		オリーブ	瓶	250	〃		マツト	〃	450		〃
バター	kg	165	〃		ラーメン	袋	35	〃		布地	㎡	40		安手
チーズ	〃	100	〃		牛乳	ℓ	15	〃		皮靴	足	250		安手
ソーセージ	〃	120	〃		乳粉	kg	180	〃		作業靴	〃	250		〃
火腿	〃	350	〃		(日常家庭用品)			〃		(営農資材)				
ラード	〃	65	〃		平底鍋	個	200	易	安手	マルチ(ハンカ)	丁	200		並
食油	ℓ	80	〃		フライパン	〃	120	〃	〃	オ	〃	500		〃
食塩	kg	10	〃		洗面器	〃	80	〃	〃	草刈クワ	〃	180		〃
砂糖	〃	25	〃		灯油コ口	〃	250	〃	〃	スリ	〃	150		〃
醤油	ℓ	70	〃		皿	枚	25	〃	〃	スリ	〃	750		2人ビキ
味噌	〃	80	〃		フォーク	本	15	〃	〃	種	〃	100		
味の素	箱	80	〃	100%	ナイフ	〃	40	〃	〃	カソリン	ℓ	160		
ジュース	本	10	〃		サシ	〃	15	〃	〃	オイル	ℓ	120-		
ココ-Cola	〃	15	〃		コップ	個	10	〃	〃	后油	ℓ	15-		

